

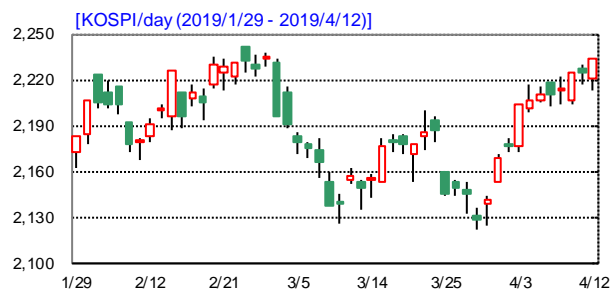


## 【韓国】 総合指数は週間で 1.1%高と続伸、今週は引き続き堅調な展開か

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 1.1%高と続伸。前週末の欧米株高を支えに投資家のリスク選好意欲が高まり、買いが先行。米中が 3-5 日に開いた閣僚級通商協議が進展したと伝わったことも相場を支えた。指数は 12 日まで 11 営業日続伸。2 月 27 日に付けた年初来高値 (2234.79 ポイント) に迫った。9 日には LG ディスプレーが 4.8%高。9-11 日に中国深センで開催の中国電子情報博覧会で OLED (有機 EL) の新製品を発表するとの期待が高まった。週後半は利益確定売りが出やすい状況だったものの、米株高や米韓首脳会談が支えとなった。トランプ米大統領が北朝鮮の金正恩委員長との 3 回目の首脳会談に意欲を示したことも好感された。今週は国内では 15 日に 3 月の輸出増加率 (改訂値)、18 日に韓国中銀基準金利が発表される。

▼指数チャート

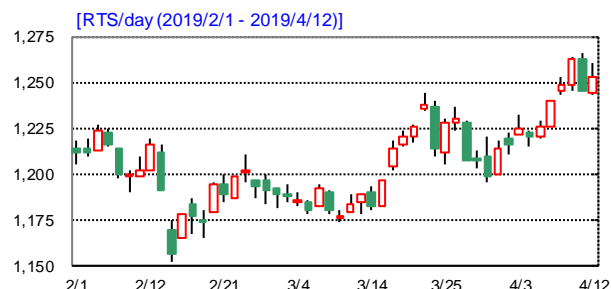


## 【ロシア】 RTS 指数は 2.3%高と続伸、今週は景気拡大期待や原油高で堅調か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 2.3%高と続伸。原油高や米国による追加経済制裁懸念の後退、強気な成長率見通しが好感された。週明け 8 日は原油高を好感して上昇してスタートすると、その後も米国による追加経済制裁懸念の後退や 2019 年の成長率が政府予想を上回るとの見通しを背景に指数は 10 日に終値で 1262.48 ドルと約 1 年ぶりの高値を更新。11 日も戻り高値更新が続いたが、アジア株の軟調な値動きやウクライナとの関係悪化懸念、利益確定売りなどで指数は 1%超反落した。ただ、12 日は力強い中国の輸出を受けて反発した。個別銘柄では、米 JP モルガン・チェースの好決算を受けて金融のズベルバンクが大幅高となったほか、ノヴァテクなどの資源株も指数を押し上げた。今週は景気拡大期待や原油高を背景に堅調か。

▼指数チャート



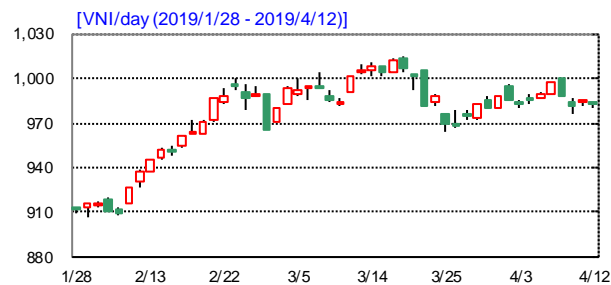
## 【ベトナム】 ベトナム指数は週間で 0.6%安と反落、今週は押し目買いが相場の支

えか

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 0.6%安と反落。IMF による世界経済の成長率見直し引き下げや米欧貿易摩擦の激化、中国の景気減速懸念が嫌気された。週明け 8 日は中国政府による追加刺激策の示唆に加え、前週末の米雇用統計の内容が好感され、指数は 0.8%高でスタート。9 日は一時的に 3 月 21 日以来となる 1000 ポイントを回復したが、その後は IMF の成長率見直し引き下げや米欧の貿易摩擦懸念の高まりで投資家心理が悪化した。12 日は中国の 3 月の輸入減少を受けて中国の経済成長が減速するとの警戒感が広がり、株価の重しとなった。個別銘柄ではピナカフェ・ビエンホアが 24.3%高と急伸した一方、ビングループ、サイゴンビール・アルコール飲料、ベトコムバンクなどが指数を押し下げた。今週は押し目買いが相場を支えるか。

▼指数チャート

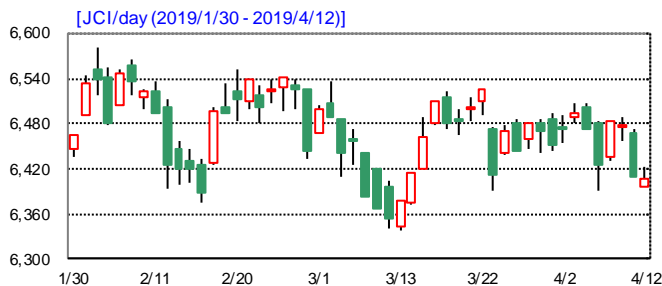


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.1% 安、今週は総選挙の結果に注目**

ジャカルタ総合指数は週間で 1.1% 安と反落。買い材料に乏しく軟調な値動きが続いた。週初の 8 日は、大統領選と議会選挙の同日投票を翌週に控えた政治的な不安感の広がりで見られ続落。9 日にはいったん買い戻されたものの、10 日は中国が今年の石炭の輸入量を前年並みに抑制すると報じられた影響で関連株が指数下落を主導した。11 日は世界的な景気減速への懸念を背景に売り優勢の展開となり、指数は終値ベースで前日比 1.1% 下落。結局、12 日まで 3 日続落して引けている。今週は 15 日発表の 3 月の貿易統計に対する市場の反応が焦点。17 日は総選挙投票日、19 日はグッドフライデーの祝日で休場となる。

### ▼指数チャート

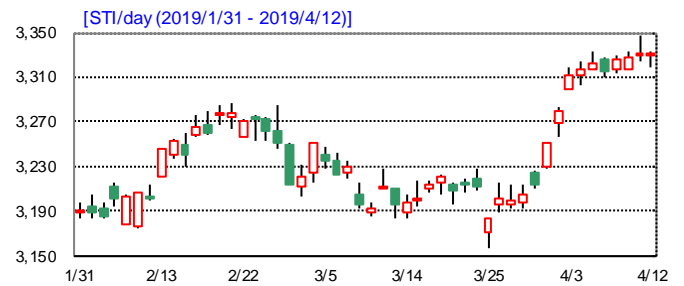


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.3% 高、1-3 月期の GDP 成長率は前年同期比 1.3%**

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.3% 高と 5 週続伸。週初は下落したものの、その後は小幅なレンジでもみ合いながら徐々に上値を広げた。8 日は 8 営業日ぶりに反落したが、9 日は中国がインフラ投資の拡大を含む新たな景気刺激策を打ち出したことが好感されて反発。12 日は 1-3 月期の GDP 速報値が前年同期比 1.3% 増と市場予想から下振れした上、中国では 3 月の輸入額が前年同月比 7.6% 減と低迷したが、輸出が 14.2% 増とマイナス成長だった前月からプラスに転じた効果で指数は 4 日続伸した。今週は 17 日に 3 月の非石油地場輸出が発表される予定。19 日はグッドフライデーのため休場となる。

### ▼指数チャート

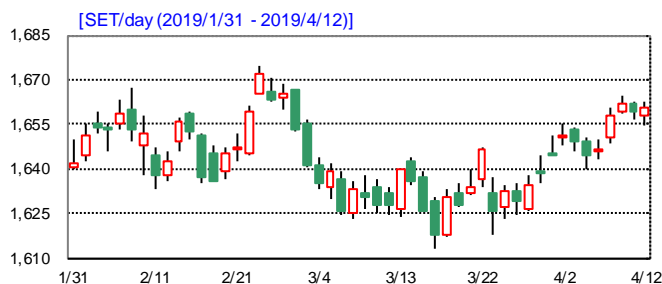


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.9% 高、原油の供給懸念でエネルギー株に買い**

SET 指数は 4 日間の取引で 0.9% 高と続伸。経済指標の発表が少ない中、外部要因に左右されながらおおむね堅調に推移した。連休明けの 9 日は、リビアの内戦激化による原油の供給懸念の広がりを受けて先物価格が約 5 カ月ぶりの高値を付けた効果でエネルギー株が指数上昇をけん引。10 日には終値ベースで 1 カ月半ぶりの高値を更新したが、11 日は 4 営業日ぶりに反落した。ただ、12 日は小幅に反発して取引を終えている。今週も国内の経済イベントが少なく、17 日に発表される中国の 1-3 月期の GDP や 3 月の鉱工業生産、小売売上高の内容が株式市場で意識されそうだ。15-16 日はソンクラーンのため休場。

### ▼指数チャート

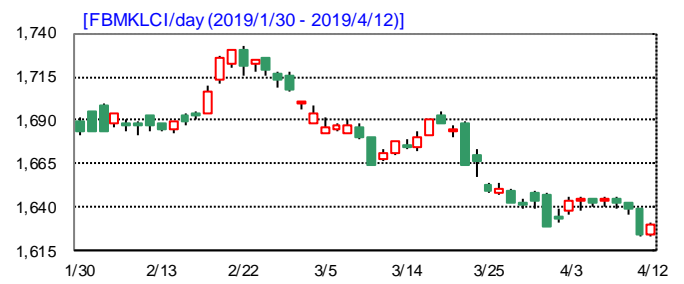


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.7% 安、東海岸鉄道計画の再開で中国と合意**

クアラルンプール総合指数は週間で 0.7% 安と 4 週続落。週末の反発が下げ幅を縮めた。週初の 8 日は 3 月の米雇用統計で非農業部門の就業者増加数が市場予想を上回り、前週末の NY ダウが 3 日続伸した流れを引き継ぎ反発。ただ、9 日に反落すると、10 日は米国と EU の貿易摩擦を巡る緊張感の高まりに加え、IMF が今年の世界経済の成長見通しを下方修正した影響で売り優勢となった。11 日はテナガ・ナショナルが指数下落を主導し、3 日続落したが、12 日は東海岸鉄道計画の再開について中国と合意したことが好感されて反発した。今週は国内の経済イベントが少なく、外部要因に左右される展開になりそうだ。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。